



「ふれあいの里山」復活大作戦

日時	2016年9月3日(土) 9時00分～ 15時00分
場所	金ヶ崎公園
参加者	午前:エコウイング会員/4名、魚住まち協/5名、事務局/1名 計/10名 午後:エコウイング会員/4名、魚住まち協/2名、その他/4名、事務局/1名 計/11名

● 午前

9月に入りましたが、今日の金ヶ崎公園は厳しい残暑(明石の最高気温:32.7℃)でした。曇りがちであまり強い日差しはなかったのですが、湿度が高く少し動くと汗だくになる蒸し暑い中での活動でした。

今日は7月に続いて、魚住まち協の皆様活動に参加されました。まず会議室で前月の活動で見つけた「ナラ枯れ」について新聞記事を参考にして説明をしました。

そのあと、午前中は一緒に公園内を一巡りして市民自然図鑑の昆虫観察をしました。観察の途中では、全員で「ナラ枯れ」の被害状況も再確認しました。気温が高すぎたためか、昆虫の姿は思ったより多くありませんでした。

● 午後

午後は公園内の「ナラ枯れ」の被害の広がり状況を確認するため、コナラやアベマキの木を1本ずつ観察して幹から粉状の木屑が出ていないか確認しました。その結果、新たに4本の木が被害に上がることが確認されました。今後の被害の広がりが心配されます。

なお、午後は市内の福祉施設から4名の皆様に参加され、竹林の間伐をして「そうめん流し」用の竹を切り出して持ち帰られました。

- 次回の活動は10月1日(土)の予定です。気温も下がり、快適な活動ができる時期になっていると思います。たくさんの皆様のご参加をお待ちしています。

昆虫観察の様子(その1)



昆虫観察の様子(その2)



ナラ枯れの被害状況観察



ナラ枯れ被害の広がり確認



竹林の間伐作業



活動後に会議室で打合せ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その1)

今日、金ヶ崎公園で観察して撮影した昆虫などを紹介します。今月も、あまり多くはないもののチョウやガ、セミ、トンボ、バッタ、コウチュウなどのなかまが色々と確認できました。チョウでは、久しぶりにゴマダラチョウを観察しました。公園内のエノキを食草に、もっと数を増やしてほしいものです。また、公園内の小さな池では、ギンヤンマが産卵している様子も観察できました。

コムスジ



ホシミスジ



ヒカゲチョウ



ヤマトシジミ



アサマイチモンジ



ウラギンシジミ



ヒメウラナミジャノメ



ゴマダラチョウ



ハグルマトモエ



カノコガ



アブラゼミ



ツクツクボウシ



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その2)

ギンヤンマ(オス)



産卵中のギンヤンマ(メス)



ウスバキトンボ



リスアカネ(オス)



オンブバッタ



ショウリョウバッタ



コクワガタ(メス)



ヤマトタマムシ(死骸)



トゲアリ



野鳥では、公園内の小さな流れで水浴びをする小鳥が観察できました。その中に、キビタキのペアを確認しました。公園内で夏を過ごし、ひよっとすると子育てをしたのかもしれませんが。メジロも水浴びに来ていました。

水浴び中のキビタキ(オス)



メスのキビタキも水浴び



メジロも水浴び



MORIさんとHIROYA君の自然観察日記(その3)

その他の生物では、大きなトノサマガエルが見つかりました。また、昆虫観察の途中では、道路横の側溝に小さなヘビがいるのを見つけました。ジムグリという種類の幼いヘビではないかと思いません。小川の中には、アメリカザリガニもいました。

大きなトノサマガエル



ヘビのなかま(ジムグリ?)



アメリカザリガニ



植物では、金ヶ崎公園を代表する野草のナンバンギセルの花が、ススキの根元にたくさん咲いていました。そのほかに、キノコのなかまもいくつか観察しました。傘の表面がバームクーヘンを思わせる縞模様のもの(ニオイワチチタケ?)や、黄色のパステルカラーのもの(名前不明)が見られました。

ナンバンギセルの花



今日のキノコ(その1)
ニオイワチチタケ?



今日のキノコ(その2)

